



中小企業経営を後押しする 「障がい者雇用」のかたち

②障がい者雇用の課題と解決

中小企業活力向上オンラインセミナー
人材・組織分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



中小企業の障がい者雇用の現況

中小企業の法定雇用率

従業員数43.5～100人未満の規模の企業の実雇用率をみると、1.95%と法定雇用率2.5%を下回っており、また、法定雇用率達成企業の割合は、47.2%と約半数となっています。

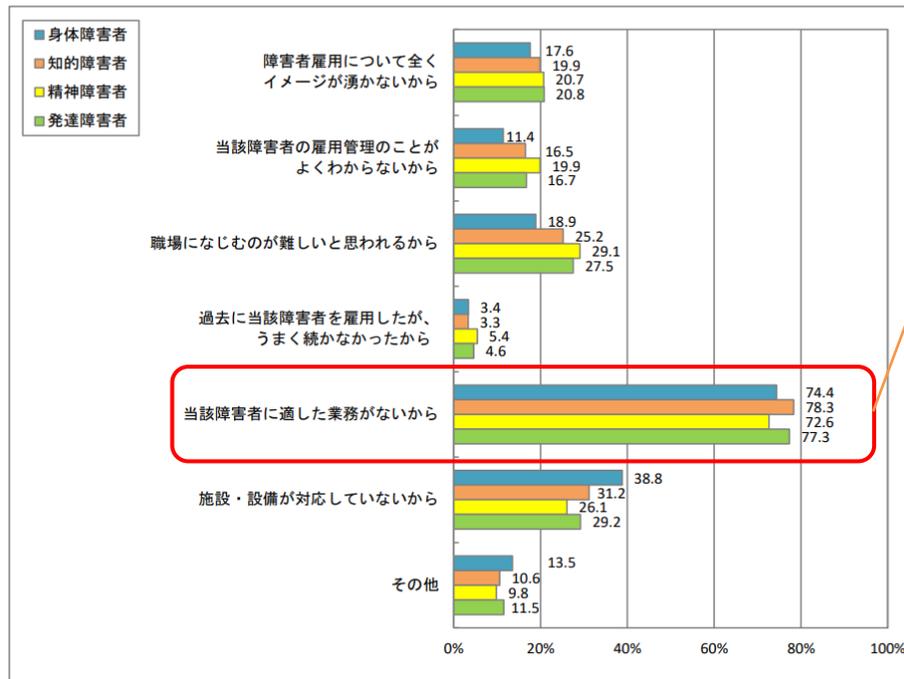
従業員数	43.5～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1000人未満	1000人以上
実雇用率	1.95%	2.15%	2.18%	2.36%	2.55%
達成企業割合	47.2%	53.3%	46.9%	52.4%	57.5%



中小企業の障がい者雇用の現況

法定雇用率を満たさない事業主には、ペナルティが課されますので、本来はこれを回避したいのですが、それでも雇用が進まない理由があります。

図6-3 障害者を雇用しない理由別事業所数の割合(複数回答)



障がい者を雇用しない理由は「当該障がい者に適した業務がないから」が最も多いとされます。



中小企業の障がい者雇用の現況

特に中小企業においては障がい者雇用が進まない理由として以下のような理由が挙げられます。

- ①「業務切り出しの難しさ」
- ②「費用の問題」



その他、せっかく雇用しても長続きしない「定着面」にも課題を感じる中小企業は多いようです。





中小企業の障がい者雇用の課題解決

中小企業障がい者雇用のポイント

中小企業で障がい者雇用に成功させるためには以下の4点がポイントとなります。

- ① 障がい者の強みにフォーカスする
- ② 職場のリテラシー向上に努める
- ③ 就労支援機関と連携する
- ④ 助成制度を活用する





中小企業の障がい者雇用の課題解決

① 障がい者の強みにフォーカスする

<得意>
正確さ
スピード



<不得意>
マルチタスク
とっさの対応



強みを活か
したデータ
入力!





中小企業の障がい者雇用の課題解決

② 職場のリテラシー向上に努める

理解するための取組例

<研修>



<マニュアル配布>

